



平成28年8月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年7月14日

上場会社名 株式会社ファーストリテイリング 上場取引所 東
 コード番号 9983 URL <http://www.fastretailing.com/jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 柳井 正
 問合せ先責任者 (役職名) グループ上席執行役員 CFO (氏名) 岡崎 健 TEL 03-6865-0050
 四半期報告書提出予定日 平成28年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成28年8月期第3四半期の連結業績（平成27年9月1日～平成28年5月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第3四半期	1,434,616	6.4	145,829	△23.0	122,095	△41.9	76,694	△45.2	71,010	△46.4	△43,765	—
27年8月期第3四半期	1,348,114	23.9	189,274	35.5	210,282	47.1	140,009	52.2	132,364	51.5	243,316	169.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第3四半期	696.50	695.54
27年8月期第3四半期	1,298.60	1,296.99

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年8月期第3四半期	1,272,753	693,580	668,850	52.6	6,559.91
27年8月期	1,163,706	774,804	750,937	64.5	7,366.07

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	175.00	—	175.00	350.00
28年8月期	—	185.00	—	—	—
28年8月期（予想）	—	—	—	165.00	350.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年8月期の連結業績予想（平成27年9月1日～平成28年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,800,000	7.0	120,000	△27.0	83,000	△54.1	45,000	△59.1	441.41

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年8月期3Q	106,073,656株	27年8月期	106,073,656株
② 期末自己株式数	28年8月期3Q	4,113,349株	27年8月期	4,128,255株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年8月期3Q	101,952,746株	27年8月期3Q	101,928,795株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の背景、前提条件等については、四半期決算短信【添付資料】4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 継続企業の前提に関する注記	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
4. 補足情報	17
(1) 部門別売上実績	17

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2015年9月1日～2016年5月31日）の連結業績は、売上収益が1兆4,346億円（前年同期比6.4%増）、営業利益は1,458億円（同23.0%減）、税引前四半期利益は1,220億円（同41.9%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益が710億円（同46.4%減）と、増収減益の結果となりました。セグメント別では、グローバルブランド事業は増収増益を達成いたしました。国内ユニクロ事業、および海外ユニクロ事業は増収減益でした。なお、5月末の為替レートが期首に比べて円高に転じたことにより、その他費用に為替差損を67億円（同148億円減）、また長期保有している外貨建資産などの円換算額が減少し、金融費用に為替差損234億円（同434億円減）を計上しております。この結果、税引前四半期利益は前年同期比41.9%減の大幅な減益となりました。

ただし、当第3四半期連結会計期間（2016年3月1日～5月31日）の3ヶ月間の連結業績は、国内ユニクロ事業および海外ユニクロ事業の業績が回復したことにより、売上収益は前年同期比6.2%増、営業利益は同18.6%増と、増収増益に転じております。

当社グループは、中期ビジョンとして「世界No. 1のアパレル製造小売グループとなる」ことを目標に、特に海外ユニクロ事業、ジーユー事業の拡大に注力しております。各国においてユニクロの出店を継続すると同時に、世界主要都市にグローバル旗艦店、大型店を出店し、ユニクロブランドのグローバル化を図っております。また、イネス・ド・ラ・フレサンジュ、ルメール、カリーヌ・ロフトフェルドといった世界中の有名デザイナーやアーティスティックディレクターとのコラボレーションを通じ、グローバル市場でのブランド認知度を高めております。中期的にはユニクロ事業におけるEコマースの構成比を30%まで高める目標を掲げ、物流改革を進めております。その一環として、2016年4月には東京有明に次世代物流センターを稼働いたしました。この他、国内各地および中国、米国などの海外拠点でも新物流センターを稼働させる物流改革に取り組んでおります。また、グループ第二の柱に成長したジーユー事業は、高成長が軌道に乗り始めたほか、海外市場への出店加速も視野に入れております。

[国内ユニクロ事業]

国内ユニクロ事業の当第3四半期連結累計期間の売上収益は6,454億円（前年同期比1.1%増）、営業利益は932億円（同18.1%減）と、増収減益となりました。ただし、当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間では、売上収益は前年同期比4.4%の増収、営業利益は同19.7%の増益と、増収増益に転じております。ウィメンズ商品を中心にジョガーパンツ、スカンツといったトレンド商品の販売が好調だったことに加え、エアリズム素材やドライ素材を使ったスポーツキャンペーン商品の販売が好調だったことから既存店売上高は同2.8%増となっております。また、Eコマースの販売は同40.6%増（売上構成比5.5%）と引き続き好調に推移いたしました。収益面では、2016年春からの価格戦略の見直しにより値引率が改善し、売上総利益率が同0.9ポイント増加いたしました。また、経費削減対策の効果により、売上販管費比率は同1.2ポイント改善いたしました。物流改革に伴う物流費は増加傾向にありますが、広告宣伝費、委託費などの経費を大幅に削減いたしました。5月期末の国内ユニクロの店舗数は846店舗（フランチャイズ店39店舗を含む）と、前年同期末比で2店舗増加しております。

[海外ユニクロ事業]

海外ユニクロ事業の当第3四半期連結累計期間の売上収益は5,328億円（前年同期比10.6%増）、営業利益は422億円（同18.7%減）と、増収減益でした。ただし、当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間では、売上収益は前年同期比5.3%増、営業利益は同41.1%増と増収増益を達成しております。グレーターチャイナ（中国大陸・香港・台湾）は増益に転じ、東南アジア・オセアニア地区（シンガポール・マレーシア・タイ・フィリピン・インドネシア・オーストラリア）、欧州（英国・フランス・ロシア・ドイツ・ベルギー）は引き続き増収増益、米国は赤字が縮小した一方で、韓国は減益が続きました。2016年3月には、全面改装したグローバル旗艦店311オックスフォードストリート店がオープンし、欧州全体におけるユニクロの知名度アップに貢献いたしました。米国では在庫調整が一巡したことにより粗利益率が改善、経費比率も改善するなど、経営の立て直しが進捗しております。韓国では引き続き景気のスローダウンの影響や競争激化により業績の苦戦が続きました。海外ユニクロ事業全体の5月期末の店舗数は928店舗、前年同期末比で161店舗増となりました。

[グローバルブランド事業]

グローバルブランド事業の当第3四半期連結累計期間の売上収益は2,543億円（前年同期比12.6%増）、営業利益は230億円（同16.5%増）と、増収増益となりました。また、当第3四半期連結会計期間の3ヶ月間でも、売上収益は前年同期比12.0%増、営業利益は同8.7%増と増収増益を達成しております。ジーユー事業は、スカンツ、ロングTなどのキャンペーン商品の販売が好調だったことから、既存店売上高は二桁増収、高い成長が続いております。また、セオリー事業は若干の増益となりました。一方で、コントワー・デ・コトニエ事業は赤字幅が拡大し、プリンセス タム・タム事業、J Brand事業はほぼ前年並みの赤字となりました。

[CSR (企業の社会的責任) 活動]

当社グループのCSR活動は「社会的責任を果たす」「社会に貢献する」「社会の問題を解決し新たな価値を創造する」ことを基本方針とし、グローバルかつ地域に根ざした活動に取り組んでおります。

2016年4月1日、ユニクロが日本財団とともに支援する、難病の子ども向けホスピス「TSURUMIこどもホスピス」が大阪市鶴見区に開業いたしました。同施設は、その運営を医療・教育・保育の専門家を中心とした地域ボランティアが主導する日本発のコミュニティ型子ども向けホスピスです。安心・安全が保障された環境で、難病児たちとその家族が心から寛げる“第2の家”といえる空間を提供します。

「平成28年熊本地震」により甚大な被害に見舞われた熊本県下の被災者の皆様に、緊急支援衣料のお届けを行いました。被災地への支援物資として、生活ニーズの高い下着をはじめ、くつ下やルームセット等13,600点を寄贈いたしました。

世界の難民・避難民に衣料を届けるプロジェクト「1000万着のHELP」が、2016年6月20日の世界難民デーまでに、目標としていた1,000万着を上回る1,281万着の衣料回収を達成いたしました。このプロジェクトは、ユニクロが事業を展開する16の国と地域、さらには日本国内の関係取引先112社846拠点や238校におよぶ教育機関、28の学生団体や各地域の皆様にご協力をいただいた結果、達成することができました。回収した衣料は、当社がグローバルパートナーシップを結ぶ国連難民高等弁務官事務所 (UNHCR) などを通じて、世界の難民・避難民に届けられます。世界中の衣料ニーズを調査しながら、必要地域に十分な衣料を届けてまいります。

(2) 連結財政状態に関する説明

(当第3四半期連結会計期間末における資産、負債、資本の状況)

資産は、前連結会計年度末に比べ1,090億円増加し、1兆2,727億円となりました。これは主として、現金及び現金同等物の増加987億円、売掛金及びその他の短期債権の増加303億円、その他の短期金融資産の増加1,764億円、棚卸資産の減少422億円、デリバティブ金融資産の減少1,436億円等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,902億円増加し、5,791億円となりました。これは主として、未払法人所得税の減少221億円、長期金融負債の増加2,479億円、繰延税金負債の減少423億円等によるものです。

資本は、前連結会計年度末に比べ812億円減少し、6,935億円となりました。これは主として、利益剰余金の増加343億円、その他の資本の構成要素の減少1,179億円等によるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前第3四半期連結会計期間末に比べ、298億円増加し、4,539億円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による収入は、前第3四半期連結累計期間と比べ486億円減少し、1,324億円(前年同期比26.9%減)となりました。これは主として、税引前四半期利益1,220億円(前年同期比881億円減)、為替差損234億円(前年同期比434億円増)等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は、前第3四半期連結累計期間と比べ1,581億円増加し、2,189億円(前年同期比260.2%増)となりました。これは主として、定期預金の増減額1,823億円(前年同期比1,649億円増)、有形固定資産の取得による支出269億円(前年同期比54億円減)等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による収入は、前第3四半期連結累計期間と比べ2,443億円増加し、2,032億円となりました。これは主として、社債の発行による収入2,493億円(前年同期比2,493億円増)等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年8月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の進捗状況を勘案し、2016年4月7日に公表しました予想数値に対して修正いたしました。修正の背景は足元で円高が進んだことにより、6月末の為替レート103円を期末の為替レートの前提とし、金融収益・費用に発生する為替差損を175億円から370億円に変更したことによります。

以上により、通期の業績予想は、売上収益1兆8,000億円(前期比7.0%増)、営業利益1,200億円(同27.0%減)、親会社の所有者に帰属する当期利益450億円(同59.1%減)としております。

業績および配当金の予想につきましては、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、2016年4月7日付「平成28年8月期 第2四半期決算短信」で発表いたしました通期の連結業績予想との差異は以下の通りです。

(通期)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,800,000	120,000	102,500	60,000	588.55
今回修正予想 (B)	1,800,000	120,000	83,000	45,000	441.41
増減額 (B-A)	—	—	△19,500	△15,000	—
増減率 (%)	—	—	△19.0	△25.0	—
前期実績	1,681,781	164,463	180,676	110,027	1,079.42

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式会社ウェアレクスを新たに設立したため、連結子会社を含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年8月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2016年5月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	355,212	453,927
売掛金及びその他の短期債権	44,777	75,147
その他の短期金融資産	22,593	199,090
棚卸資産	260,006	217,806
デリバティブ金融資産	157,490	13,886
未収法人所得税	18,564	636
その他の流動資産	15,748	16,992
流動資産合計	874,394	977,488
非流動資産		
有形固定資産	129,340	128,030
のれん	27,165	26,212
のれん以外の無形資産	40,991	40,531
長期金融資産	75,940	77,174
繰延税金資産	11,107	18,551
その他の非流動資産	4,766	4,764
非流動資産合計	289,311	295,265
資産合計	1,163,706	1,272,753
負債及び資本		
負債		
流動負債		
買掛金及びその他の短期債務	181,577	187,480
デリバティブ金融負債	100	6,244
その他の短期金融負債	15,471	13,430
未払法人所得税	36,763	14,643
引当金	22,615	13,997
その他の流動負債	35,714	40,598
流動負債合計	292,242	276,394
非流動負債		
長期金融負債	25,513	273,480
引当金(非流動)	10,203	10,336
繰延税金負債	47,272	4,941
その他の非流動負債	13,668	14,020
非流動負債合計	96,658	302,778
負債合計	388,901	579,172

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年8月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2016年5月31日)
資本		
資本金	10,273	10,273
資本剰余金	11,524	12,984
利益剰余金	602,623	636,931
自己株式	△15,699	△15,646
その他の資本の構成要素	142,214	24,306
親会社の所有者に帰属する持分	750,937	668,850
非支配持分	23,867	24,729
資本合計	774,804	693,580
負債及び資本合計	1,163,706	1,272,753

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	注記	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年9月1日 至 2015年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年9月1日 至 2016年5月31日)
売上収益		1,348,114	1,434,616
売上原価		△661,656	△740,240
売上総利益		686,458	694,375
販売費及び一般管理費	2	△502,805	△540,479
その他収益	3	9,641	1,877
その他費用	3	△4,020	△9,943
営業利益		189,274	145,829
金融収益	4	21,840	1,389
金融費用	4	△833	△25,124
税引前四半期利益		210,282	122,095
法人所得税費用		△70,272	△45,400
四半期利益		140,009	76,694
四半期利益の帰属			
親会社の所有者		132,364	71,010
非支配持分		7,645	5,684
合計		140,009	76,694
1 株当たり四半期利益			
基本的1株当たり四半期利益(円)	5	1,298.60	696.50
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	5	1,296.99	695.54

要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年9月1日 至 2015年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年9月1日 至 2016年5月31日)
四半期利益	140,009	76,694
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目	—	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
売却可能金融資産	△517	33
在外営業活動体の換算差額	26,002	△22,170
キャッシュ・フロー・ヘッジ	77,820	△98,322
その他の包括利益合計	103,306	△120,459
四半期包括利益合計	243,316	△43,765
四半期包括利益合計額の帰属		
親会社の所有者	233,428	△46,897
非支配持分	9,888	3,131
四半期包括利益合計	243,316	△43,765

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					売却可能 金融資産	在外営業 活動体の 換算差額
2014年9月1日残高	10,273	9,803	525,722	△15,790	798	23,035
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	132,364	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△517	23,935
四半期包括利益合計	—	—	132,364	—	△517	23,935
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	△5	—	—
自己株式の処分	—	557	—	80	—	—
剰余金の配当	—	—	△33,126	—	—	—
株式報酬取引による増加	—	1,098	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,655	△33,126	75	—	—
連結累計期間中の変動額合計	—	1,655	99,238	75	△517	23,935
2015年5月31日残高	10,273	11,459	624,960	△15,714	281	46,971

(単位：百万円)

	その他の資本の構成要素		親会社の所 有者に帰属 する持分	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	合計			
2014年9月1日残高	64,536	88,371	618,381	17,660	636,041
連結累計期間中の変動額					
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	132,364	7,645	140,009
その他の包括利益	77,645	101,063	101,063	2,242	103,306
四半期包括利益合計	77,645	101,063	233,428	9,888	243,316
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	△5	—	△5
自己株式の処分	—	—	638	—	638
剰余金の配当	—	—	△33,126	△1,226	△34,352
株式報酬取引による増加	—	—	1,098	—	1,098
その他	—	—	—	180	180
所有者との取引額合計	—	—	△31,394	△1,046	△32,441
連結累計期間中の変動額合計	77,645	101,063	202,033	8,841	210,874
2015年5月31日残高	142,181	189,434	820,414	26,502	846,916

(単位：百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					売却可能 金融資産	在外営業 活動体の 換算差額
2015年9月1日残高	10,273	11,524	602,623	△15,699	143	37,851
連結累計期間中の変動額						
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	71,010	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	33	△20,000
四半期包括利益合計	—	—	71,010	—	33	△20,000
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	△4	—	—
自己株式の処分	—	442	—	57	—	—
剰余金の配当	—	—	△36,702	—	—	—
株式報酬取引による増加	—	963	—	—	—	—
その他	—	53	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	1,460	△36,702	52	—	—
連結累計期間中の変動額合計	—	1,460	34,307	52	33	△20,000
2016年5月31日残高	10,273	12,984	636,931	△15,646	176	17,850

(単位：百万円)

	その他の資本の構成要素		親会社の所 有者に帰属 する持分	非支配持分	資本合計
	キャッシュ・ フロー・ ヘッジ	合計			
2015年9月1日残高	104,219	142,214	750,937	23,867	774,804
連結累計期間中の変動額					
四半期包括利益					
四半期利益	—	—	71,010	5,684	76,694
その他の包括利益	△97,939	△117,907	△117,907	△2,552	△120,459
四半期包括利益合計	△97,939	△117,907	△46,897	3,131	△43,765
所有者との取引額					
自己株式の取得	—	—	△4	—	△4
自己株式の処分	—	—	500	—	500
剰余金の配当	—	—	△36,702	△2,857	△39,560
株式報酬取引による増加	—	—	963	—	963
その他	—	—	53	587	641
所有者との取引額合計	—	—	△35,189	△2,269	△37,459
連結累計期間中の変動額合計	△97,939	△117,907	△82,086	862	△81,224
2016年5月31日残高	6,279	24,306	668,850	24,729	693,580

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年9月1日 至 2015年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年9月1日 至 2016年5月31日)
税引前四半期利益	210,282	122,095
減価償却費及びその他の償却費	27,549	27,780
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	29
その他の引当金の増減額 (△は減少)	△4,915	△8,656
受取利息及び受取配当金	△1,013	△1,389
支払利息	829	1,677
為替差損益 (△は益)	△20,035	23,446
固定資産除却損	2,085	783
売上債権の増減額 (△は増加)	△28,197	△31,474
棚卸資産の増減額 (△は増加)	36,524	30,782
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,335	12,096
その他の資産の増減額 (△は増加)	△4,189	△2,899
その他の負債の増減額 (△は減少)	21,181	10,274
その他	△277	△2,008
小計	233,484	182,537
利息及び配当金の受取額	1,013	1,389
利息の支払額	△751	△1,134
法人税等の支払額	△66,522	△68,292
法人税等の還付額	13,881	17,963
営業活動によるキャッシュ・フロー	181,105	132,463
定期預金の増減額 (△は増加)	△17,394	△182,374
有形固定資産の取得による支出	△32,469	△26,982
有形固定資産の売却による収入	230	1,003
無形資産の取得による支出	△5,710	△6,818
敷金及び保証金の増加による支出	△7,927	△6,716
敷金及び保証金の回収による収入	3,442	3,718
建設協力金の増加による支出	△1,937	△1,186
建設協力金の回収による収入	1,352	1,467
その他	△385	△1,089
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,800	△218,979
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△878	△1,287
長期借入金の返済による支出	△2,977	△2,940
社債の発行による収入	—	249,369
配当金の支払額	△33,105	△36,673
非支配持分への配当の支払額	△1,226	△2,857
リース債務の返済による支出	△3,355	△3,482
その他	425	1,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	△41,118	203,256
現金及び現金同等物に係る換算差額	30,845	△18,025
現金及び現金同等物の増減額	110,032	98,715
現金及び現金同等物期首残高	314,049	355,212
現金及び現金同等物期末残高	424,081	453,927

- (5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループでは衣料品販売を主たる事業として、「国内ユニクロ事業」「海外ユニクロ事業」「グローバルブランド事業」を主な報告セグメントとして区分し、グループ戦略を立案・決定しております。

なお、各報告セグメントに含まれる事業と主要製品は、以下のとおりであります。

国内ユニクロ事業：日本で展開するユニクロ事業（衣料品）

海外ユニクロ事業：海外で展開するユニクロ事業（衣料品）

グローバルブランド事業：ジーユー事業、セオリー事業、コントワー・デ・コトニエ事業、プリンセス タム・タム事業、J Brand事業（衣料品）

② セグメント収益及び業績の測定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、前連結会計年度の「重要な会計方針」における記載と同一です。なお、当社グループでは報告セグメントに資産及び負債を配分しておりません。

③ セグメント収益及び業績に関する情報

前第3四半期連結累計期間（自 2014年9月1日 至 2015年5月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	その他 (注1)	調整額 (注2)	連結合計
	国内ユニクロ 事業	海外ユニクロ 事業	グローバル ブランド 事業				
売上収益	638,104	481,876	225,970	1,345,951	2,162	—	1,348,114
営業利益	113,773	51,959	19,787	185,519	45	3,709	189,274
セグメント利益 (税引前四半期利益)	116,964	51,977	19,762	188,704	45	21,532	210,282

(注1) 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない収益及び全社費用であります。

当第3四半期連結累計期間（自 2015年9月1日 至 2016年5月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			合計	その他 (注1)	調整額 (注2)	連結合計
	国内ユニクロ 事業	海外ユニクロ 事業	グローバル ブランド 事業				
売上収益	645,432	532,813	254,350	1,432,595	2,020	—	1,434,616
営業利益	93,216	42,235	23,056	158,509	51	△12,731	145,829
セグメント利益 (税引前四半期利益)	92,651	42,073	22,905	157,630	51	△35,586	122,095

(注1) 「その他」の区分に含まれる事業は、不動産賃貸業等であります。

(注2) 「調整額」の区分は、主に各報告セグメントに帰属しない収益及び全社費用であります。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年9月1日 至 2015年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年9月1日 至 2016年5月31日)
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	53,713	58,513
地代家賃	127,674	132,673
減価償却費及びその他の償却費	27,549	27,780
委託費	21,367	24,961
人件費	167,683	181,018
その他	104,816	115,531
合計	502,805	540,479

3. その他収益及びその他費用

その他収益及びその他費用の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年9月1日 至 2015年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年9月1日 至 2016年5月31日)
その他収益		
為替差益(注)	8,118	—
固定資産売却益	38	34
その他	1,485	1,842
合計	9,641	1,877

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年9月1日 至 2015年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年9月1日 至 2016年5月31日)
その他費用		
為替差損(注)	—	6,776
固定資産除却損	2,085	783
その他	1,934	2,384
合計	4,020	9,943

(注) 営業取引から発生した為替差損益はその他収益及びその他費用に計上しております。

4. 金融収益及び金融費用

金融収益及び金融費用の内訳は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年9月1日 至 2015年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年9月1日 至 2016年5月31日)
金融収益		
為替差益(注)	20,035	—
受取利息	978	1,384
受取配当金	34	5
その他	792	—
合計	21,840	1,389

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年9月1日 至 2015年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年9月1日 至 2016年5月31日)
金融費用		
為替差損(注)	—	23,446
支払利息	829	1,677
その他	3	—
合計	833	25,124

(注) 営業取引以外から発生した為替差損益は金融収益及び金融費用に計上しております。

5. 1株当たり情報

前第3四半期連結累計期間 (自 2014年9月1日 至 2015年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年9月1日 至 2016年5月31日)		
1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	8,048.03	1株当たり親会社所有者帰属持分(円)	6,559.91
基本的1株当たり四半期利益(円)	1,298.60	基本的1株当たり四半期利益(円)	696.50
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	1,296.99	希薄化後1株当たり四半期利益(円)	695.54

(注) 基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2014年9月1日 至 2015年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2015年9月1日 至 2016年5月31日)
基本的1株当たり四半期利益		
親会社の所有者に帰属する四半期利益(百万円)	132,364	71,010
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株主に係る四半期利益(百万円)	132,364	71,010
期中平均株式数(株)	101,928,795	101,952,746
希薄化後1株当たり四半期利益		
四半期利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	126,620	140,984
(うち新株予約権)	(126,620)	(140,984)

6. 後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 部門別売上実績

部門	前第3四半期連結累計期間 自 2014年9月1日 至 2015年5月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2015年9月1日 至 2016年5月31日		(参考) 2015年8月期	
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)
メンズ	254,385	18.9	257,619	18.0	314,587	18.7
ウィメンズ	305,093	22.6	303,981	21.2	371,127	22.1
キッズ・ベビー	48,338	3.6	46,526	3.2	56,526	3.4
グッズ・その他	15,604	1.1	17,438	1.2	19,429	1.1
国内ユニクロ商品売上合計	623,420	46.2	625,565	43.6	761,671	45.3
F C 関連収入・補正費売上高	14,683	1.1	19,866	1.4	18,467	1.1
国内ユニクロ事業合計	638,104	47.3	645,432	45.0	780,139	46.4
海外ユニクロ事業	481,876	35.7	532,813	37.1	603,684	35.9
ユニクロ事業合計	1,119,980	83.0	1,178,245	82.1	1,383,824	82.3
グローバルブランド事業	225,970	16.8	254,350	17.7	295,316	17.6
その他事業	2,162	0.2	2,020	0.2	2,641	0.1
合計	1,348,114	100.0	1,434,616	100.0	1,681,781	100.0

- (注) 1 F C 関連収入とは、フランチャイズ店に対する商品売上高、フランチャイズ店からのロイヤリティ収入であり、補正費売上高とは、パンツの裾上げ(補正)の加工賃及び刺繍プリントによる収入等であります。
- 2 ユニクロ事業とは、「ユニクロ」ブランドのカジュアル衣料品販売事業であります。
- 3 グローバルブランド事業は、ジーユー事業(「ジーユー」ブランドの衣料品販売事業)、セオリー事業(「Theory(セオリー)」、「Helmut Lang(ヘルムート・ラング)」、「PLST(プラステ)」ブランド等の衣料品販売事業)、コントワー・デ・コトニエ事業(「COMPTOIR DES COTONNIERS(コントワー・デ・コトニエ)」ブランドの衣料品販売事業)、プリンセス タム・タム事業(「PRINCESSE TAM. TAM(プリンセス タム・タム)」ブランドの衣料品販売事業)及びJ Brand事業(「J BRAND(ジェイブランド)」ブランドの衣料品販売事業)で構成されております。
- 4 その他事業とは、不動産賃貸業等であります。
- 5 上記金額には、消費税等は含まれておりません。